

# 令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立紀伊小学校
校長氏名	杉野 裕香子
作成日	令和 3年 2月 19日

## 1 教育目標

『心豊かに たくましく生きる 子供を 育てる』

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 児童アンケートで「毎日の勉強がわかる」を全学年90%台にする(昨年度は、低学年:82.6%、高学年:90.3%)</li> <li>* 保護者アンケート「家庭学習の習慣が身についている」を80%以上にする。(昨年度は、71%)</li> <li>* 県学習到達度調査で各教科、平均正答率が県平均を上回る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 児童アンケートで「学校が楽しい」の割合が昨年度より増える(昨年度は全学年90%を超えていた)</li> <li>* 保護者アンケートで「あいさつがよくできている」を80%台に。(昨年度は71%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90%にする(昨年度は80%)</li> <li>* 体力の向上を目指し、個人で行える競技(縄跳びカード等)に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保護者アンケートで「学校の様子がわかる」を90%台にする(昨年度は85.6%)</li> <li>* 体験学習や出前授業など、外部講師や専門的な講師を招く(各学年数回)</li> </ul>
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基礎学力の向上を図る</li> <li>◎教員の授業力の向上を図る</li> <li>○家庭学習の習慣化及び充実</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳教育・人権教育の充実</li> <li>◎自己肯定感や自尊感情が高められる取り組みの推進</li> <li>○支援学校や幼稚園等との交流を図る</li> <li>○良好な仲間づくりの形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎基本的な生活習慣の確立</li> <li>◎運動に親しむ基礎を育てるとともに体力向上を図る</li> <li>◎検温・手洗いなどの感染症対策の徹底</li> <li>○危機回避能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎積極的に情報を発信する</li> <li>◎地域や保護者からの提言の吸収に努め学校経営に生かす</li> <li>○地域の資源活用を進める</li> </ul>
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底する(特に自分の考えを書くことに重点を置く)</li> <li>◇算数科等を中心に支援体制をつくり、個に応じた指導・支援を行う(チーム・ティーチング)</li> <li>◇研究授業の協議が活発に行えるよう二つのグループに分け、授業技術の向上を目指す</li> <li>◇「家庭学習の手引き」を見直し、全家庭に配布。家庭学習の大切さを啓発する</li> <li>◇読み聞かせを推進し、図書室を積極的に利用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇教科書等の教材以外に、外部から講師を招く機会を持つ(スクールカウンセラーによる授業など)</li> <li>◇自主的に委員会・児童会活動に取り組む態度を育む</li> <li>◇ペア学習、集会、学級会等で関わり合う機会を持つ</li> <li>◇紀伊幼稚園・校区内の支援学校との交流を定期的に行う</li> <li>◇いじめアンケートを毎学期に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨</li> <li>◇休憩、昼休みは外に出て身体を動かすことを推奨(なわとび、鬼ごっこ)</li> <li>◇体育科の授業の充実を図る</li> <li>◇感染症防止のために衛生指導を行う</li> <li>◇交通安全教室や避難訓練を行い、危機回避能力を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇HP、各種便り等を通して学校の情報を発信する</li> <li>◇学校アンケートから学校へのニーズをとらえる</li> <li>◇ゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材、地域の自然・文化を活用する(出前授業、体験学習等)</li> </ul>
取組の成果と課題【C】(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートで「毎日の勉強がわかる」が低学年86%(昨年度82.6%)、高学年が92%(昨年度90.3%)に上がっているが、保護者アンケートでは、「学校は子供に分かりやすい授業を工夫している」が、81%(昨年度85%)と下がった。* 授業参観等、保護者に実際の授業を見ていただく機会が少なかった。本校の研究の成果を見ていただく機会を増やし、理解を深めていきたい。○県学習到達度調査では、4年国+5.9%・算+5.1%、5年国+3%・算+3%・理+4.3%と、どの教科も県平均を上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童アンケートで「学校が楽しい」が低学年で94%(昨年度91.2%)、高学年で95%(昨年度94.5%)と上がった。</li> <li>○校区内の支援学校や幼稚園との交流は豊かな心の育成につながる。コロナ禍のため活動を縮小しながらも実施した。</li> <li>○「個別支援委員会」を数回持ち、個々の困り感やニーズに合わせた指導・支援を行った。時には、カウンセラーや特別支援コーディネーターに意見を求めながら、児童の実態把握に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者アンケートでは、「早寝早起き朝ごはん」が身につけているとの回答は昨年度80%が今年度79%に下がった。</li> <li>○今年度は体力テストが中止になった。実施できる種目のみを測定し、個人記録に残した。コロナ禍での体力や免疫力の向上が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出前授業として、「命の授業」「禁煙教室」「ものづくり教室」等、保護者や外部の方の協力を得て体験学習に取り組んだ。</li> <li>○リモート学習で工場見学等を行い、普段見られない豊かな経験をさせることができた。</li> </ul>
改善方法【A】(次年度に向けての)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着に向け「紀伊タイム」のより一層の充実を図る。</li> <li>○個別指導の充実のための体制を整える。○指導法については職員間で日頃から話し合う雰囲気醸成する。○家庭学習の大切さについて、啓発に努める。○読書活動のより一層の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ運動をはじめとする児童会・委員会活動を一層充実させる。</li> <li>○保護者アンケートで「あいさつがよくできている」を80%台にする(今年度は69%)。</li> <li>○個々への声かけや励ましを行い、職員間の情報共有を密にし、一人一人を大切にしたい取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて啓発に努める。</li> <li>○体育備品を充実させるとともに、全校チャレンジも継続する。(コロナ終息後)</li> <li>○登下校時の安全確保のため、PTAや関係機関との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や関係機関との情報共有・連携に努め、地域に開かれた学校を目指す。</li> <li>○懇談会やアンケート、会合等から学校へのニーズをとらえ、よりよい学校運営を目指す。</li> <li>○学校の様子が分かるように、情報発信に努める。</li> </ul>

## 3 その他の課題

○子供の健やかな学びを保証しながら、各種行事などの教育活動を継続するための見直しを図る。○感染症に対する不安から陥りやすい差別や偏見について指導が必要である。○コロナ禍の子育てで、不安や孤独を感じている保護者も多い。子育て支援の充実にも努める。○一人1台のタブレットに向け、ICT活用の授業を進めていく。○施設の老朽化に対し引き続き要望をあげ、修繕や改修に取り組んでいく。